

# Koryu

Ritto International Friendship Association

平成16年度通常総会は、平成16年5月8日(土)に中央公民館で開催され、すべての議案が原案通り可決されました。

総会の後、会員相互の交流会が催され、久しぶりにお会いする方々、初めてお会いする方々、ともに和やかな歓談の時を過ごしました。

平成16年度  
総会&交流会



本年度の今後の事業計画は下記の通りです。今年度また1年よろしくお願ひします。

- 6月 異文化交流サロン 会報発行
- 7月 バーミンハム市使節団派遣(壮行会)
- 9月 おうみ多文化交流フェスティバル 前期英会話Ⅰ・Ⅱクラス開講 会報発行
- 10月(未定) 中国湖南省衡陽市政府使節団受入れ(歓迎会)
- 11月 RIFA会員の集い
- 12月 会報発行
- 1月 後期英会話Ⅰ・Ⅱクラス開講 国際理解講座(内容未定)
- 2月 日本語講師養成講座 異文化交流サロン
- 3月 会報発行

イベント内容についてアイデアをお寄せください。

中国語自主講座、韓国語自主講座、日本語教室はすでに4月から始まっています。中国語自主講座は定員に少し余裕があります。お申し込みください。



RIFA会員の井上ルミ子さんは、栗東市内の病院で看護士をしていましたが、今年2月に日本を離れ、韓国、ヨーロッパを旅行することになりました。この1年間RIFAのレポーターを務めてくれます。

## ルミ子の海外レポート(1)

「海外旅行」と言えば、飛行機を使った移動が一般的ですが、今回は少し変わった旅行の楽しみ方を学びました。ロンドンからフェリーでドーバー海峡を渡り、その後はベルギー、ドイツ、チェコリパブリック、オーストリア(ウィーン)、イタリア(ベニス/ローマ/フィレンツェ)スイス、フランスの7ヶ国をCoach(長距離バス)で移動。車窓から見る広大な風景!「暖かい春のシグナル」を感じたかと思うと、次の国では「冬に逆戻り」なんていう季節の変化を体感できる醍醐味。飛行機でひとつ飛びはあまりにももったいない話!



もちろんボーダーでは「入国審査」なるものがあった。一見日本の高速道路の料金所のようなスタイル。国境を越えるまではバスから降りる事が許されず、必要に応じて下車するといった様子で写真撮影禁止のためお見せできないのが残念です。

さて、ヨーロッパでもっとも印象に残った場所といえば、ウィーンのシンボル“聖シュテファン大寺院”。町並みが一望できる北塔はもとより、さらに印象深かったのはカクコンベ(地下墓場)!ここではハプスブルク家歴代皇帝の心臓以外の内臓、棺、ベストで死んだ2000体の人骨が山のごとく積み重ねられた様子を見学。途中一度停電になったりと少し腰が引けましたが必見の場所でした。



次にローマ。到着日は、Holy week(イースター前の1週間)の初日、いわゆるPalm-Sundayにあたる日で、この日は、サンピエトロ寺院(カトリック総本山で規模は世界一)に入ることはできませんでしたが、その広場にはローマ法王の「聖なるメッセージ」が響き渡り、会場両サイドの大スクリーンを通し法王のお姿を拝見することができ神聖な気持ちになれました。場所を変えてコロッセオ(紀元80年に完成した円形競技場)にやって来ると、今度はそのスケールの大きさに圧倒されると同時に、目を閉じると当時の観衆の声援が聞こえてきそうでした。



では次回まで……

私たちはRIFAを応援しています

人と自然と技術の調和

**SHINSHU**

建設コンサルタント/補償コンサルタント  
環境アセスメント/建築設計ほか

株式会社 **新洲** 栗東市安養寺1-1-24  
TEL (077) 552-8888 FAX (077) 553-7098  
本社・支店・営業所/滋賀、京都、大阪、神戸、名古屋



JR草津駅西口前

ホテルポストインプラザ草津

- シングル ¥8,085 ~ ●ダブル ¥12,705
- ツイン ¥18,480 ~ (税・サ込)
- レストラン「リパティール」
- カラオケバー「ティールーム2室」
- 宴会会場 3階 3会場
- 2階スカイ/ソングラブルーム 2会場
- 会議ホール、ご宴会場あり

Phone 077-561-3311



<http://www.hotel-bc.co.jp>

昨年度、RIFA英語クラスを担当して下さったオーストラリア人グリー・トンプソンさんが、日本に来られる前の約10ヶ月間、欧州を旅行しました。旅の様子、アドバイスを聞いてみましょう。



グリー・トンプソン

## つつましい予算で充分楽しめるヨーロッパへの旅

オーストラリア→シンガポール→エジプト→トルコ→ギリシャ→イタリア→ドイツ→オランダ→チェコ→オーストリア→スイス→イタリア→フランス→スペイン→ポルトガル→スペイン→イギリス→ベルギー→オランダ→オーストラリア

トルコはとても旅行しやすい国である。ほとんどの人が英語を話し、実に親切で友好的だから。他のヨーロッパの国々や日本に比べると、物価は安い。最も簡単な旅行は大型バスを利用することである。ホステルやペンションは5つ星ではないけれど、たいていは居心地がよく、オーナーはよくもてなしてくれる。黒海、イスタンブールからそしていよいよヨーロッパへ。

ギリシャの島々を訪問、ギリシャ本国ではアテネを訪ねた。最初のオリンピック開催地、パルテノン神殿などたくさんの古代ギリシャの歴史的な遺物を見物した。この国ではほとんどの物は非常に高い。

イタリアは素晴らしかった。この国は電車のシステムは完璧ではないけれど、電車はそのうち必ずやってくる。出発のプラットフォームは電車が着くまで決められず、時間通り走るとは限らない。人々はフレンドリーで丁寧なので、旅行者は自由に振舞える。食べ物はいいし、史跡も文化も素晴らしい。もしチャンスがあれば喜んでイタリアにもう一度行ってみたいと思っている。

ミュンヘンからオランダに向かってドイツを旅行した。ドイツでは日本と同じように列車が本当に時間通りでちょっと驚いた。そしてすでにご存知かもしれないが、列車がどのプラットフォームに着くかは到着前に決まっている。ドイツではほとんどの物事が時間通りに始まる。醸造所、メルセデス・ベンツの工場（ダイムラー・クライスラー）、リンドチョコレート工場（チューリッヒにある）などを見学できる。工場見学はたいてい無料なのでお勧めである。ドイツの食べ物もビールもおいしい。かなりの二日酔いをしたが。

オランダ人は、冒険好きな国民であり、いつでもからともなく現れるので私を驚かせてやまなかった。オランダはほとんどのところが平らなので、ドイツと同じように、サイクリングには都合である。市町村では近代計画の中にサイクリストたちのための規定が設けられており、オーストラリアもこれに倣って欲しいと思った。

10ヶ月にわたる「一生に一度の旅」であるが、驚いたことにそれほど費用はかからなかった。大人2人、航空運賃も含めて、オーストラリアドルで約3万5千ドル、252万円で済んだ。旅を始めて5ヶ月後にオランダで車を購入し、帰途につく1日前に売ったが、ヨーロッパ18000キロをドライブするのに必要なジーゼル用の燃料費も含まれている。

最初の5ヶ月は持ち物全部のうえに、小さな調理用ガス器具をバックパックで持ち歩いた。その後はオランダで買った日産アーバンで旅行したが、そのバンにはベッド、2個のバーナーつきのガスレンジ、30リットルの水タンク2個つきの流し、キャンプ場用の小さな冷蔵庫が備わっていた。ヨーロッパの国々では公衆トイレの観念が一般的ではないので、バンの後部に携帯用トイレも積み込むのは必須のことであった。例えば、人口20万人を超えるスペインの大きな町々でも、公衆トイレはひとつもない。地方の旅行案内センターでは、もしトイレに行きたければ、レストランに入って食べ物を注文し、そのトイレを利用しようアドバイスしている。

ヨーロッパではキャンプ場は一般的で、旅行についてのアドバイスや話を交換したがる別の旅行者と出会うだろう。旅の途中で友達ができただけでなく、もしあなたにお出会いすることがあるとして、ここに書ききれなかった詳細を何時間もうんざりするほど話したら、うれしいのだけれど。でも、もうこれでさようなら。あなたの旅の参考に。よいご旅行を。

